

風紋

2019 No.562 (8月号)

浜岡砂丘

セーフティ
ドライバー
コンテスト



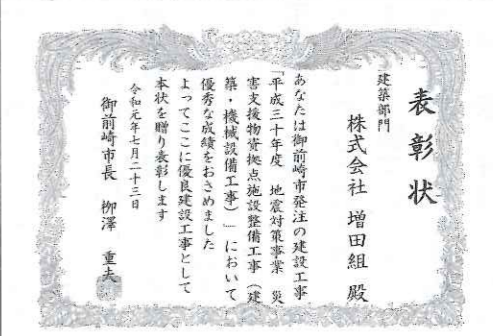
私が自動車免許を取得した菊川自動車学校での開催でした。

学科と技能検定より上位を決めるもので、学科は酒気帯び運転の減点数や、乗車定員数に対する十二歳以下の子供の乗車人数及びその是非等、道路交通法改正後の日常生活に関連する内容が多く出題されました。

技能検定は教習所内を走行し、教習所通いの頃を思い出すとともに、改めて教官が同乗した上で行う運転は緊張感が伴い、いつも以上に注意と確認をして運転を行なっている自分がいました。この緊張感は普段から継続して持つべきものなのだと、今回改めて認識と認識をしました。

上位には入れませんでしたでしたが、今回コンテストに参加する機会を設けて頂き、意味のあるもので終了することができました。(Y・M)

表彰



御前崎市より優良建設工事表彰を受賞しました。

登校補助

夏の交通安全県民運動の期間中、浜岡北小学校の通学路にて横断中の子どもの安全を見守りました。もうすぐ夏休みです。子どもたちが遊びに出かける機会が増えますので、ドライバールールはより安全運転を心がけましょう。



全国安全週間

令和元年七月一日～七日の一週間にわたり、恒例の健康診断や美化活動、社員安全教育を実施しました。また、管理車両の点検や、運転免許証の現物確認を行い、交通安全に対する啓蒙も行いました。今年も雨天が多く、夏の暑さに身体が慣れていませんので、熱中症対策を万全にし、作業員の体調管理に十分気を付けるようにしましょう。

当社の安全週間



夏のイベント情報

- 菊川名物夜店市 八月二日(金)～三日(土) 18時～21時
- 菊川駅前本通り商店街 御前崎みなと夏祭2019 八月三日(土) 19時45分～約5,000発
- ふるさと夏まつりおがさ 八月十日(土) 15時～手筒花火20時30分
- ふくろい遠州花火2019 八月十日(土) 19時～約25,000発
- 吉田町港まつり・花火大会 八月二十三日(金) 20時～約2,000発
- いわた夏まつり・花火大会 八月二十四日(土) 19時30分～約5,000発

8月安全努力目標

年度安全標語 (怪我のない、事故のない、災害をゼロ)

- 作業安全**
 - 熱中症予防対策の実施
 - 適正な保護具及び服装の着用
- 交通安全**
 - 一旦停止の確実な実施と安全確認
- 環境目標**
 - 事務所内の換気と節水に心がけましょう

行事記録

- 8/27 全国安全週間
- 8/26 袋井地区安全大会
- 8/25 社員旅行
- 8/24 参議院議員比例候補佐藤信秋演説会・静岡
- 8/23 菊川地区安管役員会・菊川
- 8/22 夏の交通安全県民運動
- 8/21 御前崎市商工会総務委員会
- 8/20 セーフティドライバークンテスト菊川地区大会
- 8/19 御前崎市商工会理事会
- 8/18 袋井建設ボウリング大会・袋井
- 8/17 建設工学人材トナメ現地採用面接会・越
- 8/16 第二十五回参議院選挙投票日
- 8/15 シーテック安全集会および安全衛生協議会
- 8/14 袋井建設環境・災害対策委員会・袋井
- 8/13 静岡県中小建設業協会若手の会通常総会
- 8/12 御前崎市優良建設工事表彰・建設業組合事務所勉強会
- 8/11 御前崎市建設業組合・静岡
- 8/10 御前崎市建設業組合市道伐採業務
- 8/9 土木工事施工技術発表会及び技術講習会・袋井
- 8/8 夏季休暇のお知らせ
- 8/10(土)～8/15(木)

行事予定

- 8/27 御前崎市商工会青年部視察研修
- 8/26 御前崎市建設業組合BBQ大会
- 8/25 橋守支援センター静岡通常総会・浜松
- 8/24 御前崎みなと夏祭(花火大会)

避難訓練

南海トラフ巨大地震に伴う六月二十五日に避難訓練を実施しました。南海トラフ地震に関する情報(臨時)が発せられ、地震発生後、御前崎地域に最大十九メートルの津波警報が発せられたと仮定し、事務所、現場にてそれぞれ行いました。

-訓練の目的-

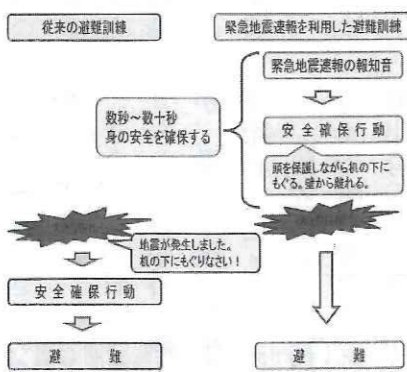
緊急地震速報を見聞きした時に、身の安全を守る行動を身につける。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません。その短い間に、あわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには日ごろからの訓練が必要です。緊急地震速報を利用した避難訓練の積み重ねにより、地震が来る前の数秒間の安全確保行動が身につく、それが先生の指示を待たずに自ら安全確保ができる主体的な行動の育成につながります。

緊急地震速報とは



地震による揺れを感じたら、速報の有無にかかわらず、身の安全を確保しましょう。今回は緊急地震速報に見立て、安否コールを利用して行いました。



大規模地震では、建物の倒壊、ブロック塀や看板の倒壊の恐れが大きくなります。安全が確保されるまで近づかないようにしましょう。

当社の避難訓練状況



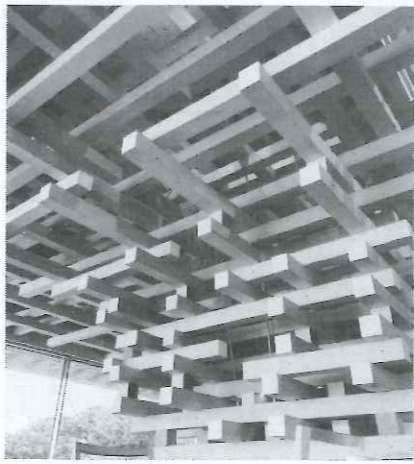
ホームページアドレス <http://www.masudagumi1912.co.jp>

カタログパーク <http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html>

社員旅行に参加して

七月五、六日の二日間で神奈川県方面へ社員旅行に行ってきました。旅行ではありますが、社外研修も兼ねているため、有名な建造物等を重点的に観覧する日程での旅路となりました。一部を抜粋して掲載します。

一日目は熱海にある「コエダハウス」という建築家の隈研吾氏が手掛けたカフェに立ち寄りました。この建物は角材を『拡張樹脂アンカー』という工法で組み合わせて外観を樹木のように仕上げられた建造物でした。近場では見ない工法のため、大変勉強になりました。



二日目は横須賀市の無人島「猿島」へ上陸し、島内の散策をしました。この島は幕末から第二次世界大戦にかけて東京湾の首都防衛拠点とされ、現在でも至るところに岩壁を掘って煉瓦で覆われた要塞跡や砲台跡地、連絡通路等が残され、時間は経っていますが大きな損傷もなく残されていました。日本では数少ない『フランドル積み』という積み方ですが、昔の技術で何十年も状態を維持できていることに感動を覚えました。

今回この旅行に参加させてもらい、社内の人たちと業務中とは違った交流をとることができ、親睦を深めることができました。

(Y・H)

特別寄稿

ルート4

浅虫温泉立ち寄り湯

末武 篤子

「ゆき〜」「ゆき〜」という津軽弁会話があります。昔は内風呂のある家はめずらしく、皆、町内の銭湯へ行ったものです。津軽弁会話の内容はもうおわかりかと思いますが、「どこへ行くの?」「湯へ行くんだよ!」この二言で大抵の近所との挨拶は済んでいます。温泉好きの私としては、お湯にこだわるつもりはありませんが、やはり多少の「ごり」と硫黄臭があると嬉しいのです。

さて、話を立ち寄り湯に戻しましょう。

ルート4は東京日本橋から青森市まで、日本を縦断するように走っている国道ですが、青森市を起点に太平洋側へ少し車を走らせた所に浅虫温泉があります。その温泉地には有名な版画家、棟方志功も愛し、定宿にしたといわれる

温泉宿もありますが、今日はルート4(国道4号線)沿いにある、道の駅に立ち寄った時のお話です。

この道の駅は浅虫温泉「ゆきさ浅虫」という五階建ての建物で、一階は物産品やオリジナルの津軽酒などを販売していますが、お目当ては五階建ての最上階にある「はだか湯」という展望浴場です。安価な料金で湯船に浸かりながらにして、風光明媚な陸奥湾や湯ノ島を一望でき旅の疲れもどこへやらです。

また、この日は、朝から雪が降りだし一日中外は寒かったです。湯が、湯上り後、体中がポカポカで湯冷めしにくいのは驚きました。脱衣所や浴室内での地元の方々の津軽弁会話を耳にして、津軽出身の私は脳内がリフレッシュしたのですが、一緒に行った津軽弁に馴染みのない主人はというと、何やら話しかけてくるお方に相づちを打ちながらも、最後まで何を言っているのか理解できなかったようです。

お茶の子

さいさい

まろ茶屋 赤坂大貴

一番茶も終え、この時期は生産から製造にかけて茶業界では一息つく季節です。特にお茶は乾燥品ということもあり湿気には弱く、製品の取り扱いには充分注意しなければいけない季節です。それにして今年の梅雨時期は長く、なかなかスッキリした晴れ間が訪れない年となりました。そろそろ梅雨も明けるとは思いますが、清々しい青空が待ち遠しい限りです。



「闘茶会」

茶業界には、全国茶業協同組合という組織があり、各県ごと茶業の振興活動を行っております。さらに各県各社の後継者を集めた団体が茶業青年団として活動しています。その活動の中で、「闘茶会」

というものがあり、正式名称を「茶審査技術競技大会」と言います。

この闘茶会、まずは各県で予選を行い、そして予選を勝ち抜いた人が個人戦及び団体戦(各県ごと)に参加できます。そこで一定の成績を収めると組合から段位がもらえ、茶業界の称号とも言えます。上を見れば最高十段まであり、この歴史の中でも指折り数えるほどしかいません。かくいう私はまだ初段も持っていないのでこれから頑張っていかなければいけません。



静岡県の所属している企業は約九十社あり、参加人数もそれに準ずる人数が参加します。そのうち全国大会に出場できる枠は十名程度と、なかなか狭き門となっています。この闘茶会ですが、煎茶の産地や品種、茶期を見極めるという技術を競います。一見同じに見える煎茶ですが、産地や仕立て方、取れる季節によって違いがありま

す。茶業にとって、より良いお茶を仕入れることは何よりも優先すべき技術とも言え、力が入る大会です。この審査技術競技は「闘茶」という名前で歴史ある遊びから由来しています。次回、もう少し細かなルールや闘茶の歴史にフォーカスを当て、書いていきたいと思っています。

「お茶の仕入と販売」

当店においても、審査技術が高く持つスタッフがいいます。審査するうえで特に、「舌と鼻」の感性が問われます。もちろん経験による勘所もありますが、誰しもが集中し真摯にお茶に向き合うことで感じられる香・味があります。当然新茶の季節や日々のお茶造りの中で、遺憾なくその技術が発揮される商品が造られています。どの商品もそれぞれの良さが伝わるよう店頭でも皆様に伝えていければと思います。

住所：御前町門番1950-2
電話番号：01200466009
営業時間：9:00~18:00
URL: <http://muro-daiya.com>

つぶやき

自分の趣味 松永 悠仁

私は趣味でフットサルをやっています。フットサルはサッカーの縮小版だと言われることが多いのですが、サッカーは十一対十一の人数で行われるスポーツです。それに対しフットサルは五対五で行われます。人数が少ない分、コートも狭いですが一人当たりの仕事量はサッカーと比べて多い様に感じます。また、パスやシュートをする場合、コートが狭い分、相手との距離が短くなるのでより少ないモーションでボールを蹴ることが重要になります。

そういった面ではサッカーよりも細かなことを気にしなければいけない、頭を使うスポーツなのかと思います。

歳を重ねるにつれ技術や体力が落ちていくのは仕方ないと思いますが、一つの趣味として健康な毎日を送れるよう継続していきたいと思っています。また、個人的な目標としてフットサル施設の代表チームに入ることを目指していますので、応援宜しくお願い致します。